



※本プレスリリースはジャガー・ランドローバー社が2011年9月19日に発表したプレスリリースの日本語訳です

2011年9月22日

ジャガー・ランドローバー社 英国内に最新技術のエンジン工場を建設 -新たな投資によりジャガー・ランドローバー社の成長計画を加速-

概要

- 3億5500万ポンドを投資して英国ウォルバーハンプトン近郊に最新技術のエンジン工場を建設
- 新工場では新設計の低公害4気筒エンジン（ディーゼル/ガソリン）を生産
- 工場建設はジャガー・ランドローバー社による英国内の技巧と技術向上プログラムの一環

2011年9月19日 ゲイドン発

本日、ジャガー・ランドローバー社は英国内で先進技術を駆使した新設計の低公害エンジン生産工場建設に、3億5500万ポンドの投資を行うことを発表しました。

本件はジャガー・ランドローバー社と英政府省庁との話し合いから生まれました。

今回の投資に関する発表は、タタ・モーターズ傘下であるジャガー・ランドローバー社のソリハル工場において行われ、英国のニック・クレグ副首相とヴィンセント・ケーブル ビジネス・イノベーション大臣らが参列しました。

新しいエンジン工場は英国中部ウォルバーハンプトン近郊に建設されます。

ジャガー・ランドローバー社CEO ラルフ・スペッツ博士は次のように述べています。

「ジャガー・ランドローバーは今後の長期的戦略の一環として、私たちの手による先進技術のエンジンをデザイン、設計、生産していきます。

ジャガーとランドローバーの将来のモデルに搭載される高効率なエンジンを英国内で生産することは大変重要な意味を持ちます。

私たちは今後5年間は毎年15億ポンドを新たなエンジン開発に投資することでエンジンバリエーションが拡大され、その結果、ジャガー・ランドローバーブランドの可能性は大きく広がります。

新たに製造される4気筒エンジンは、ジャガー・ランドローバー社がクラストップレベルに洗練され、低公害への新たな取り組みも達成しうることを示すでしょう。」



ジャガー・ランドローバー社エグゼクティブディレクター マイク・ライトは次のように述べています。

「まず、このプロジェクトを支えてくださったパートナー達に敬意を表したいと思います。

英国政府、労働組合、地方政府、国会議員、そして従業員たちの建設的な協力があって、この重要な決定に至ることができました。」

新エンジン工場では新たに750人のエンジニアと労働者の雇用を創出するだけでなく、サプライチェーン全体の雇用増大、ひいては英国経済によい影響を与えることとなります。

今回の発表は、レンジローバー イヴォーク（日本未導入）、4気筒ディーゼルエンジン搭載のXFシリーズ（ディーゼルモデル日本未導入）、ニューXKシリーズ、ディスカバリー4、レンジローバー ヴォーグなどの魅力的なモデルが発表され、過去最高のラインナップが出揃ったタイミングで発表されました。

ジャガー・ランドローバー社では、英国で19,000人、さらにサプライチェーンやディーラーネットワークなど関連企業全体で140,000人の職を直接提供しています。

以上

本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先は、
03-5470-4242（ジャガー・ランドローバー・ジャパン広報グループ代表）です。